

学校教育目標	<自らかがやく、ともにかがやく> ○自ら考え、ともに学び合う子を育てます。(知) ○思いやりの気持ちをつなげ、実践できる子を育てます。(徳) ○心と体のたくましい子を育てます。(体) ○「自分が好き」「学校が好き」「まちが好き」な子を育てます。(公) ○視野を広げ、国際社会に生きる子を育てます。(開)				
	創立 54 周年 児童生徒数: 525 人	学校長 天野 直美 主な関係校: 中田中学校 中田小学校	副校長 阿久井 勲	2 学期制	一般学級: 15 個別支援学級: 5

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<自分づくりに関する力> <コミュニケーション力> <心身ともにたくましく生きる力>	中田中学校 中田小学校 東中田小学校	○自分で考え、判断する力を育てます。○自分も他者も大切に する心を育てます。○中田のまちのよさを愛する心を育てます。 ・小中合同授業研究会を通して、指導の連続性を図る。 ・既存の児童生徒交流の場を生かし、3校の交流を促進する。 ・ブロック内専任会を柱に、児童生徒指導についての定期的な情報共有を密に行 う。

中期取組目標	学校教育目標の具現化のために、「いじめのない、明るく仲良く楽しい学校」づくりを目指します。(一人ひとりに寄り添い、見守り、安心して子どもたちが自分のよさを発揮できる場作りを「ハンドメイド」の合言葉のもと、行っていきます。) (知)分かる喜びと学び合う楽しさを通して、課題解決に向けて粘り強く取り組む態度を育てます。(徳)自尊感情を高め、物事の善悪を判断し、感謝の気持ちをもち、思いやりをつなげ、実践していく心と態度を育てます。(体)自他の生命を尊び、困難にも負けないたくましい心をもち、進んで健康づくりに取り組む態度を育てます。(公)地域の方々への挨拶も自分から進んでできるような地域との関係づくりをし、まちが大好きな気持ちを育てます。(開)様々な人とのコミュニケーションを通じて、社会への視野を広げ、国際社会で生きる力を育てます。
---------------	--

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知 担当 学習・評価部会	①指導の統一性を意識した教科担任制を継続し、安心した授業展開を通して、学習の基礎基本の定着を図る。②身近な材を活用し、ぐるぐるを意識した授業改善を行いながら、児童自らが身に付いた資質能力を感じ取ることができる支援の在り方を追求する。
豊かな心 担当 情報・学校安全・体力向上部会	①全教育活動を通して、道徳教育の充実を図り、生活の中での判断力を身に付け、よいことを進んで行えるようにする。②「いのちの学習」を通して、自己を見つめる力を伸ばし、周りの人に感謝できるようにする。③ペア学年交流では、異学年交流を通して、相手を思いやる気持ちをもてるようにする。
健やかな体 担当 情報・学校安全・体力向上部会	①学校でも家庭でも心と体の健康を守る大切さを伝えていくために、保護者とも連携し「毎日げんきカード」や「健康観察票」を活用し、自分自身の心と体を見つめさせるようにする。②感染症予防に努めながら、児童が体を動かす喜びや楽しさを味わうことができるための活動を探る。
児童指導 担当 児童支援・特別支援教育部会	①「スタンダード」を保護者と児童と一緒に確認できる機会を設け、全職員・児童・保護者の共通理解を図る。②研修や会議内での児童理解の場を充実させ、児童一人ひとりに寄り添いながら状況を理解する。③関係機関によるコンサルテーションやSSWとの連携を図り、児童を取り巻く諸課題について、迅速かつ組織的に対応する
特別支援教育 担当 児童支援・特別支援教育部会	①「特別支援教室」については、担任と担当との連携を密にして、より学びの深いものにしていく。②教室環境や授業のユニバーサルデザイン化を進め、すべての児童がわかりやすく、安心できる授業づくりを進めていく。
地域連携 担当 たてわり活動・地域連携部会	①地域行事と学習課程が連携できる学習計画を探りながら、児童に地域所属感をもたせる。②地域コーディネーターを活用し、各学年に応じた学習の中での地域との関わりの中で人々との連携を深める。
幼保小連携 担当 たてわり活動・地域連携部会	①幼保小のつながりをより意識できるよう、制約のある中での交流の在り方を探りながら引き続き取り組んでいく。②状況に合わせ計画を基に、個に応じた目標をぐるぐるで明確にしながらか交流活動を通して、自己肯定感を高められるようにする。
自分づくり (キャリア教育) 担当 たてわり活動・地域連携部会	①自分づくりパスポートの内容を精選し、活用の仕方を学校全体で共有することで、児童が自らの成長や課題を意識し考えさせるようにする。②ペア学年での活動・委員会・係の活動を充実させ、自分のできることに気付き、自分の役割に責任をもって、進んで取り組む機会をもつようにする。
いじめへの対応 担当 いじめ防止委員会	①いじめ防止や人権についての校内研修を充実させ、子どもの自己有用感・自己肯定感を高める授業や児童支援を行なうことができるようにする。②YPアセスメント、いじめアンケート、人権宣言などを活用して、子ども一人ひとりがいじめ防止について自分ごととして考え、行動できるように日々指導に努める
人材育成・組織運営 (働き方改革) 担当 人権・働き方改革部会	①コロナ後の持続可能な視点から行事等を見直し、再構築することを組織的、共働的に推進できるようにし、個々のキャリアアップにもつなげる。②授業力を向上させるために授業をとまなう研修の機会を一教員一回もうける。